Cool Work TOKYO（10月号）

～ 職場における熱中症予防対策について情報発信します ～

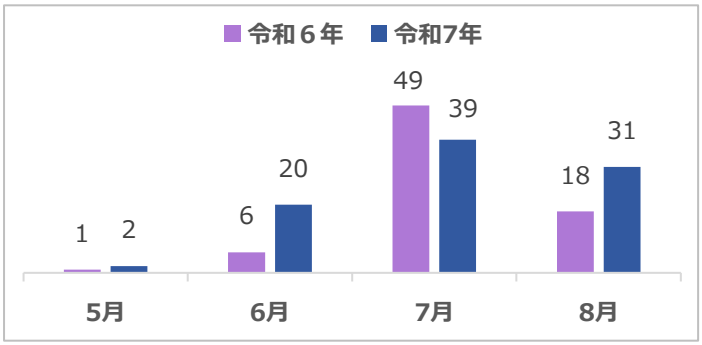
10月も引き続き熱中症予防対策に心がけてください。

令和７年の東京労働局管内の熱中症による死傷者数（※1）は、８月末日時点で９２人（速報値）であり、前年同期（７４人）と比べて１８人増加し、建設業や警備業など屋外作業で特に多く発生しています。また、死亡災害は発生していません。

東京都内の５月から８月までの真夏日と猛暑日のそれぞれの日数（※2）は、令和７年は７０日と２５日、令和６年は６０日と１９日であり、前年と比べて増加しています。

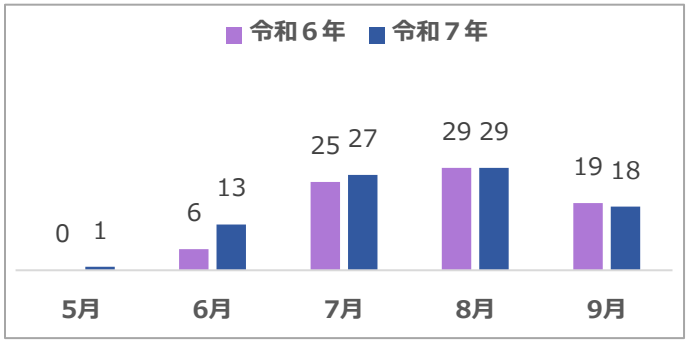
（※1）休業４日以上の死傷者数 （※2）気象庁の気象データ（地点：東京）より

熱中症による月別死傷者数



※データは熱中症による死亡及び休業４日以上の件数です。
令和７年は８月末日時点、令和６年は令和６年８月末日時点での速報値です。

東京都内 真夏日の日数(※)



※真夏日とは最高気温が30℃以上の日をいいます。
気象庁の気象データ（地点：東京）より引用しています。

1 令和７年の東京労働局管内の熱中症の発生事例

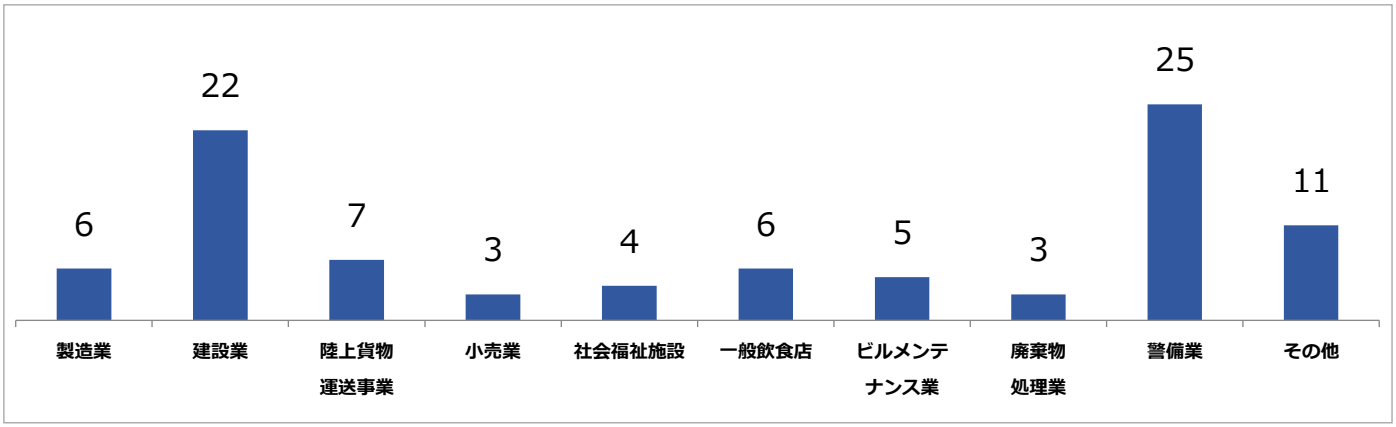
業種	発生月 時間	年齢 経験	発生状況	休業見込 日数
建設業	８月 15時	50歳代 30年以上	屋外の工事現場において、水道管の配管作業に従事していたところ、熱中症の症状を発症したもの。	７日
建設業	８月 不明	60歳代 20年以上30年未満	前日に屋外の工事現場において、外構工事に係る作業に従事した。翌日に同一の工事現場に入場したが、朝から体調が良くなかったため早退した。その後、帰宅の途中で体調が悪化し、救急搬送されたもの。	14日
陸上貨物運送事業	８月 16時	40歳代 1年以上5年未満	日中の時間帯において、集配作業やトラック荷台での荷の分別作業に従事していたところ、作業終了後に痙攣、嘔吐等の症状を発症し、救急搬送されたもの。	５日
社会福祉施設	６月 13時	20歳代 5年以上10年未満	厨房内において、給食の調理や食器洗浄の作業に従事していたところ、頭痛、吐き気等の症状を発症し、その後救急搬送され病院の診察の結果、熱中症と診断されたもの。	１１日
警備業	７月 12時	60歳代 1年未満	屋外の工事現場において、交通誘導警備業務に従事していたところ、めまい等の症状を発症し、病院の診察の結果、熱中症と診断されたもの。	７日

東京労働局労働基準部健康課

（R７.10）

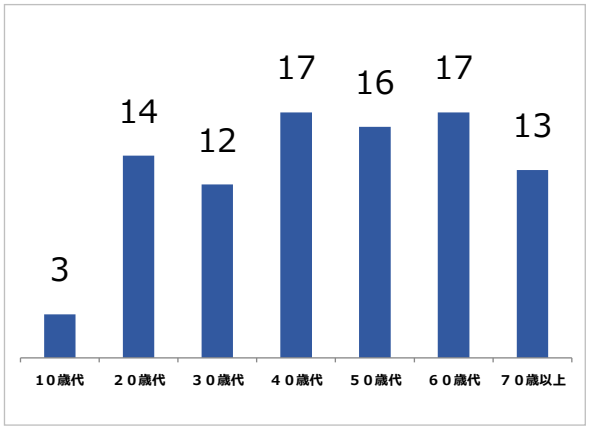
2 令和７年の東京労働局管内の熱中症による死傷者数（８月末日時点の速報値）

(1) 業種別死傷者数

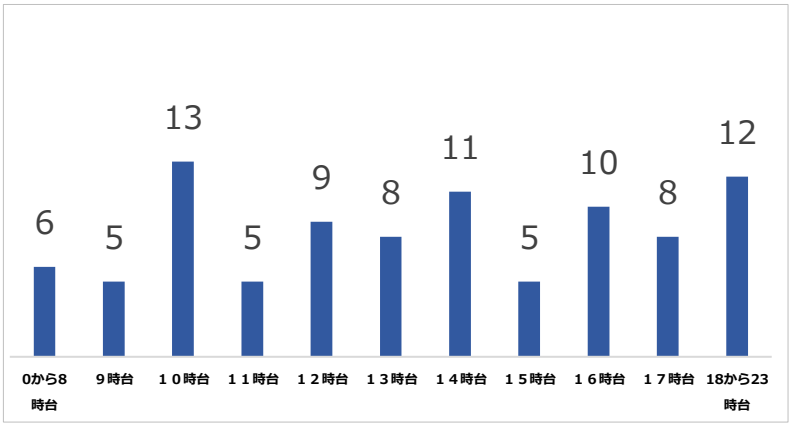


※警備業、建設業で特に多く発生しております。

(2)年齢別死傷者数



(3) 時間別死傷者数



※あらゆる年代で発生しております。

東京労働局からのお知らせ

東京労働局ホームページ
熱中症予防対策を掲載しています。

東京労働局HP

東京労働局公式You tubeチャンネル・公式X
熱中症予防対策含む各種情報を掲載しています。

東京労働局公式YouTube

東京労働局公式

第30回 産業保健フォーラム IN TOKYO 2025

高年齢労働者の健康確保 ～いくつになっても働ける職場づくり～

講演・事例発表 動画配信のご案内

10月8日（水）に「ティアラこうとう」にて開催の産業保健フォーラムにおける基調講演・事例発表の模様を東京労働局ホームページ内にて期間限定で配信します。

配信期間　令和７年１０月下旬～（１ヶ月間期間限定）

配信場所　東京労働局　産業保健フォーラム　検索

https://jsite.mhlw.go.jp/tokyo-roudoukyoku/hourei_seido_tetsuzuki/anzen_eisei/_00005.html

産業保健フォーラム

Cool Work TOKYO

東京労働局労働基準部健康課

（R７.10）